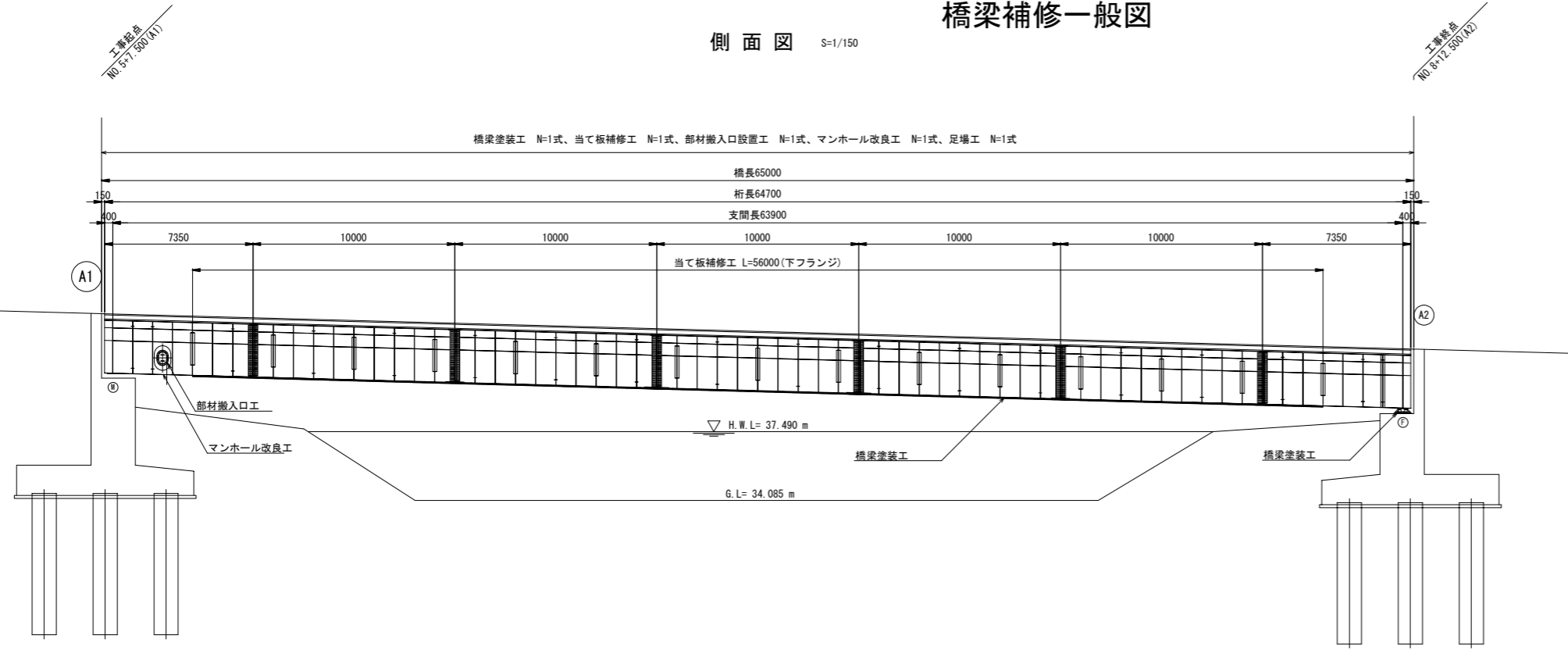


図面目録【（総合評価）新上里橋補修工事】

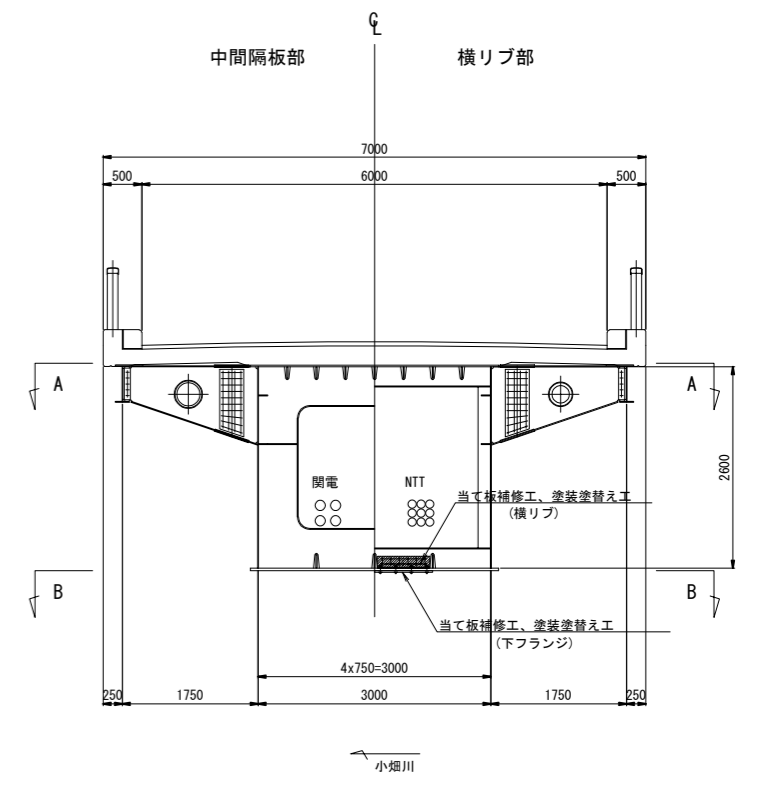
図面番号	図面名称
1 / 12	橋梁補修一般図
2 / 12	当て板補修図（その1）
3 / 12	当て板補修図（その2）
4 / 12	当て板補修図（その3）
5 / 12	当て板補修図（その4）
6 / 12	当て板補修図（その5）
7 / 12	当て板補修図（その6）
8 / 12	部材搬入口設置工、マンホール改良工図
9 / 12	橋梁塗装工図（その1）
10 / 12	橋梁塗装工図（その2）
11 / 12	足場工計画図（その1）（参考図）
12 / 12	足場工計画図（その2）（参考図）

橋梁補修一般図

側面図 S=1/150

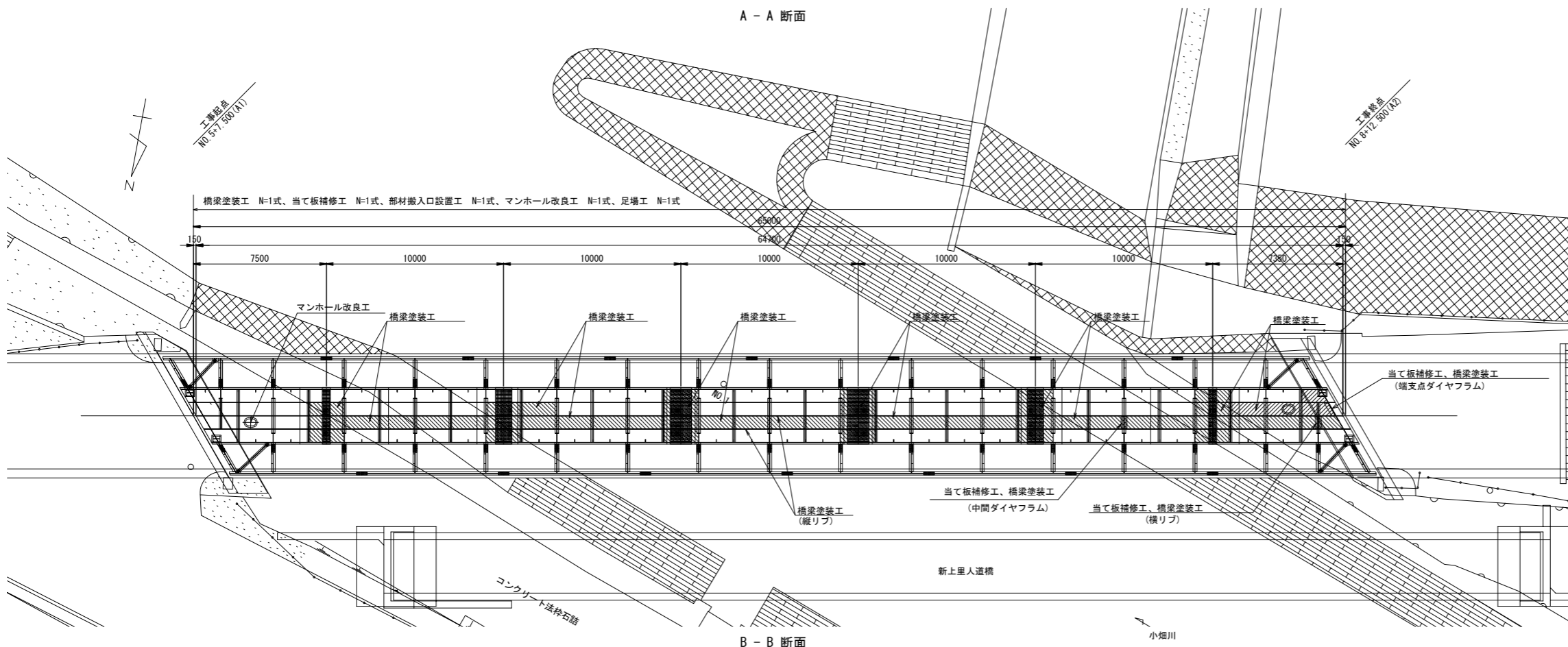


補修断面図 S=1/50

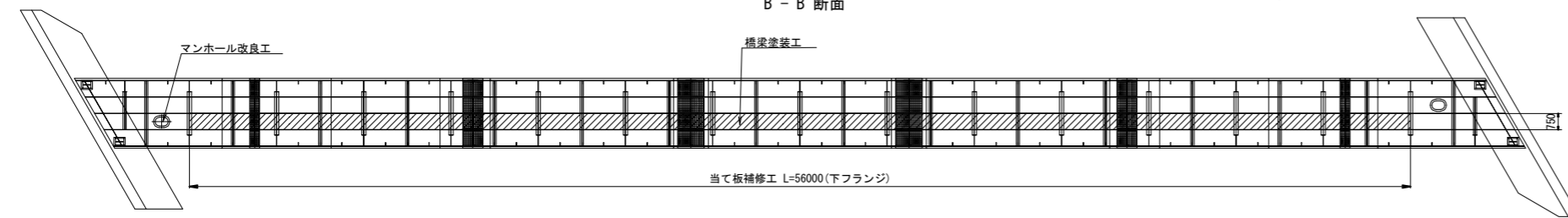


平面図 S=1/150

A - A 断面



B - B 断面



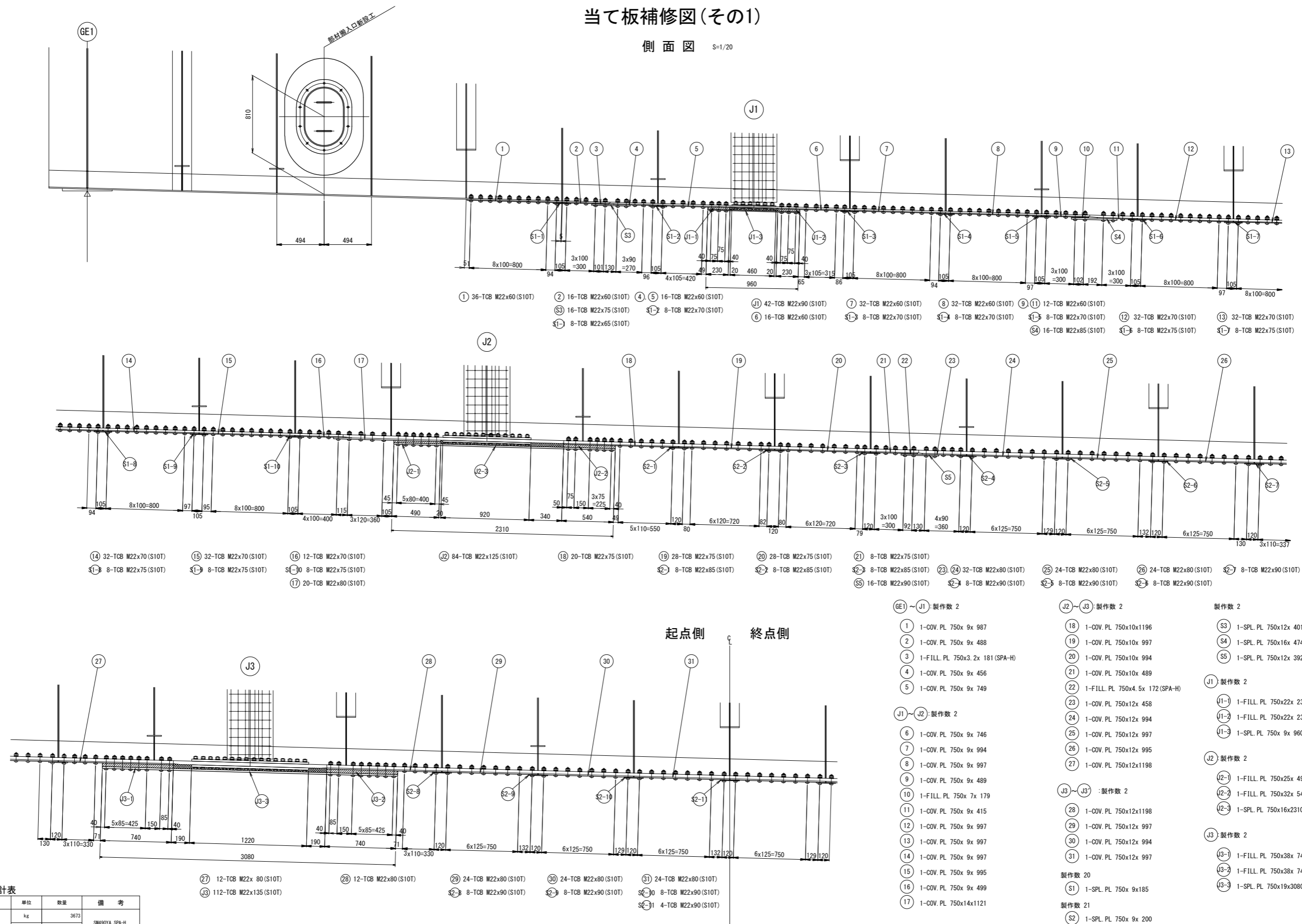
補修項目一覧

構造部位	対象部材	補修箇所	補修工および補修内容
上部工	主桁	下フランジ	当て板補修工、橋梁塗装工
		端支点・中間ダイヤフラム	当て板補修工、橋梁塗装工
		横リブ	当て板補修工、橋梁塗装工
		縦リブ	橋梁塗装工
	腹板	部材搬入口設置工	
支承	マンホール	マンホール改良工	
	支承	橋梁塗装工	

工事名	(総合評価) 新上里橋補修工事		
工事場所	京都市西京区大原野上里北ノ町他地内		
図面名	橋梁補修一般図		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図示	図面番号	1 / 12
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

当て板補修図(その1)

側面図 S=1/20



当て板補修 集計表

内 訳	単位	数量	備 考
鋼材	PL	kg	3673
	部材数		109
			SM490YA, SPA-H
鋼材 (TCB)	M22×60	本	320
	M22×65	本	16
	M22×70	本	344
	M22×75	本	280
	M22×80	本	392
	M22×85	本	80
鋼材孔明工	φ26.5	箇所	1584

当て板補修(箱桁継手部J1~J3) 集計表

内 訳	単位	数量	備 考
鋼材	PL	kg	2360
	部材数		18
			SM490YA, SM490YB
鋼材 (TCB)	M22×90	本	84
	M22×125	本	168
	M22×135	本	224
鋼材孔明工	φ26.5	箇所	476

当て板補修 芯出し調整工集計表

内 訳	単位	数量	備 考
芯出し調整工	2種ケレン相当	m ²	42.0

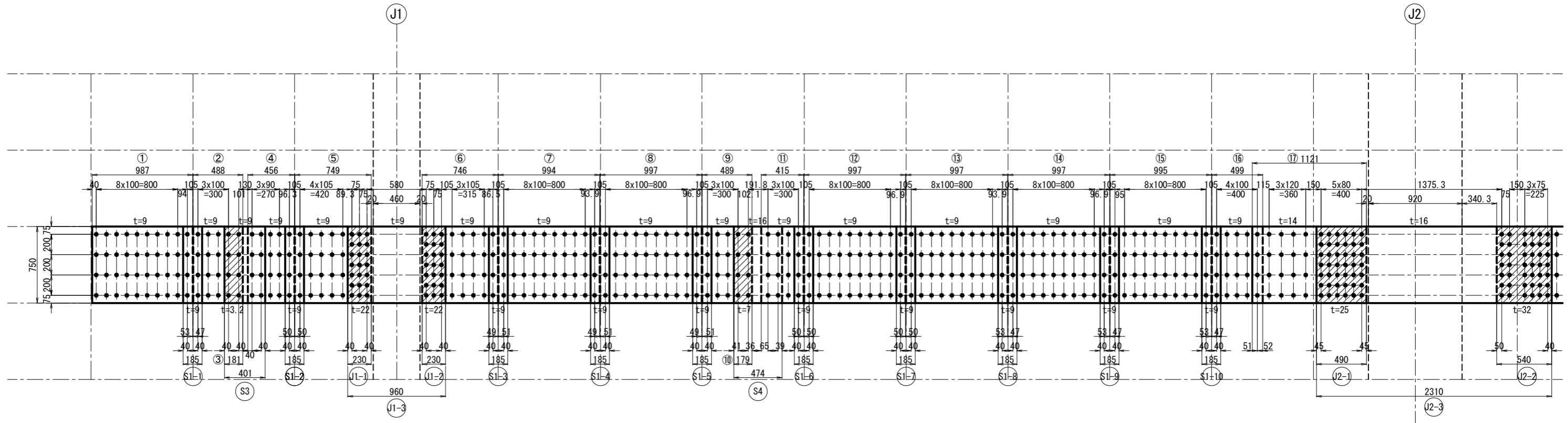
- | | | |
|--|---|--|
| <p>GE1~J1:製作数 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 1-COV. PL 750x 9x 987 ② 1-COV. PL 750x 9x 488 ③ 1-FILL. PL 750x3. 2x 181 (SPA-H) ④ 1-COV. PL 750x 9x 456 ⑤ 1-COV. PL 750x 9x 749 <p>J1~J2:製作数 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑥ 1-COV. PL 750x 9x 746 ⑦ 1-COV. PL 750x 9x 994 ⑧ 1-COV. PL 750x 9x 997 ⑨ 1-COV. PL 750x 9x 489 ⑩ 1-FILL. PL 750x 7x 179 ⑪ 1-COV. PL 750x 9x 415 ⑫ 1-COV. PL 750x 9x 997 ⑬ 1-COV. PL 750x 9x 997 ⑭ 1-COV. PL 750x 9x 997 ⑮ 1-COV. PL 750x 9x 995 ⑯ 1-COV. PL 750x 9x 499 ⑰ 1-COV. PL 750x14x121 | <p>J2~J3:製作数 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑱ 1-COV. PL 750x10x1196 ⑲ 1-COV. PL 750x10x 997 ⑳ 1-COV. PL 750x10x 994 ㉑ 1-COV. PL 750x10x 489 ㉒ 1-FILL. PL 750x4. 5x 172 (SPA-H) ㉓ 1-COV. PL 750x12x 458 ㉔ 1-COV. PL 750x12x 994 ㉕ 1-COV. PL 750x12x 997 ㉖ 1-COV. PL 750x12x 995 ㉗ 1-COV. PL 750x12x1198 <p>J3:製作数 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ㉘ 1-COV. PL 750x12x1198 ㉙ 1-COV. PL 750x12x1198 ㉚ 1-COV. PL 750x12x 997 ㉛ 1-COV. PL 750x12x 994 ㉜ 1-COV. PL 750x12x 997 <p>製作数 20</p> <ul style="list-style-type: none"> ㉝ 1-COV. PL 750x 9x185 <p>製作数 21</p> <ul style="list-style-type: none"> ㉞ 1-SPL. PL 750x 9x 200 | <p>製作数 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ㉟ 1-SPL. PL 750x12x 401 ㊱ 1-SPL. PL 750x16x 474 ㊲ 1-SPL. PL 750x12x 392 <p>J1:製作数 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ㊳ 1-FILL. PL 750x22x 230 (SM490YB) ㊴ 1-FILL. PL 750x22x 230 (SM490YB) ㊵ 1-SPL. PL 750x 9x 960 <p>J2:製作数 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ㊶ 1-FILL. PL 750x25x 490 (SM490YB) ㊷ 1-FILL. PL 750x32x 540 (SM490YB) ㊸ 1-SPL. PL 750x16x2310 <p>J3:製作数 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ㊹ 1-FILL. PL 750x38x 740 (SM490YB) ㊺ 1-FILL. PL 750x38x 740 (SM490YB) ㊻ 1-SPL. PL 750x19x3080 (SM490YB) |
|--|---|--|

- 注 記
- 特記なき材質は全てSM490YAを示す。
 - 竣工図より部材寸法等を算出しているが、詳細な寸法は現地計測を行い決定すること。
 - 高力ボルト孔はφ26.5mmとする。
 - 当て板側面において、弾性シール材 (MSコーク ノンブリードLM同等品以上) を用いて止水対策を行うこと。
 - 施工条件は起点側と終点側のDLより左右対称とする。

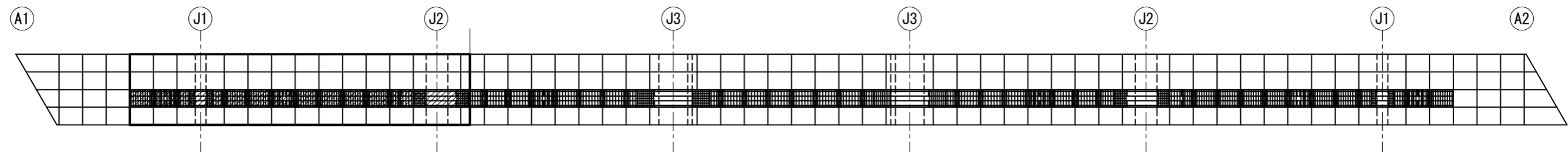
工 事 名	(総合評価) 新上里橋補修工事		
工事場所	京都市西京区大原野上里北ノ町他地内		
図 面 名	当て板補修図(その1)		
事業年度	令和8年度		
縮 尺	図 示	図面番号	2 / 12
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

当て板補修図(その2)

平面図 S=1/20



位置図 S=1/100



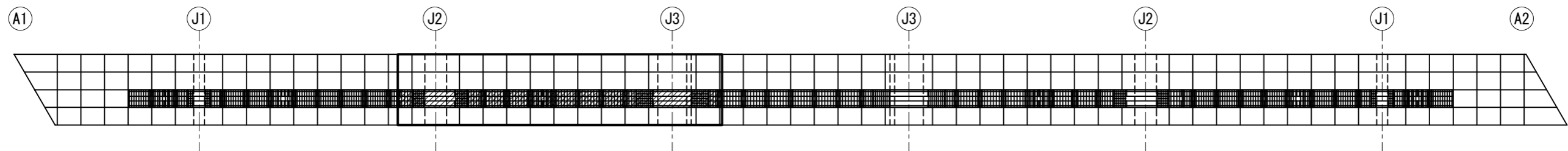
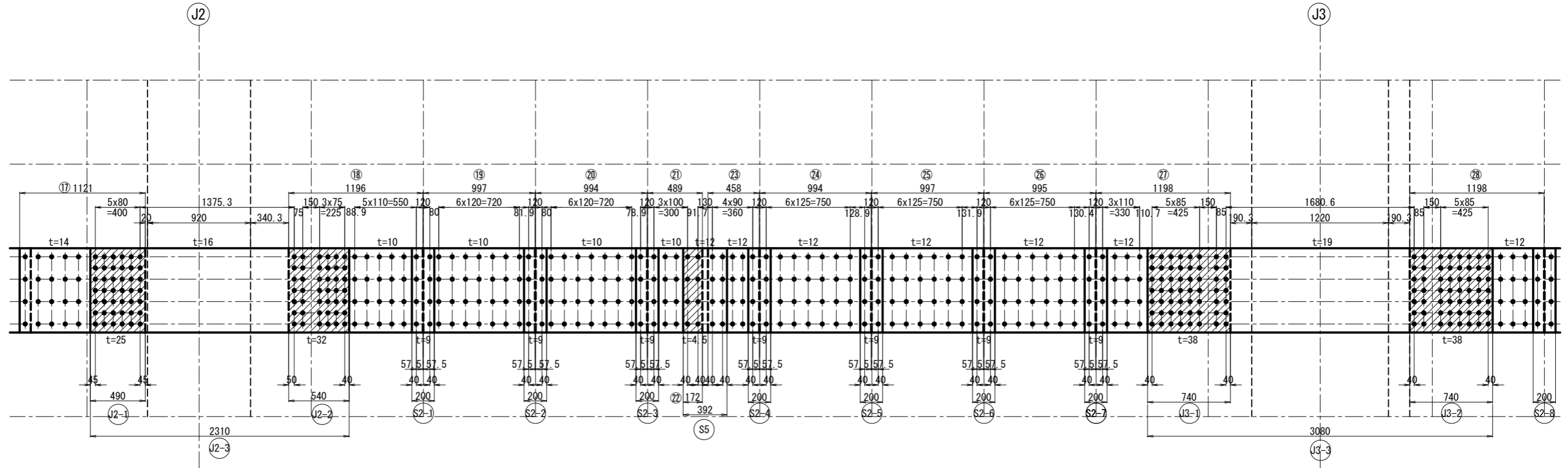
注記

- 竣工図より部材寸法等を算出しているが、詳細な寸法は現地計測を行い決定すること。
- 高力ボルト孔はφ26.5mmとする。
- 当て板側面部において、弾性シーリング材（MSコーク ノンブリードLM同等品以上）を用いて止水対策を行うこと。
- 施工条件は起点側と終点側のCLより左右対称とする。

工事名	(総合評価) 新上里橋補修工事		
工事場所	京都市西京区大原野上里北ノ町他地内		
図面名	当て板補修図(その2)		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図示	図面番号	3 / 12
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

当て板補修図(その3)

平面図 S=1/20

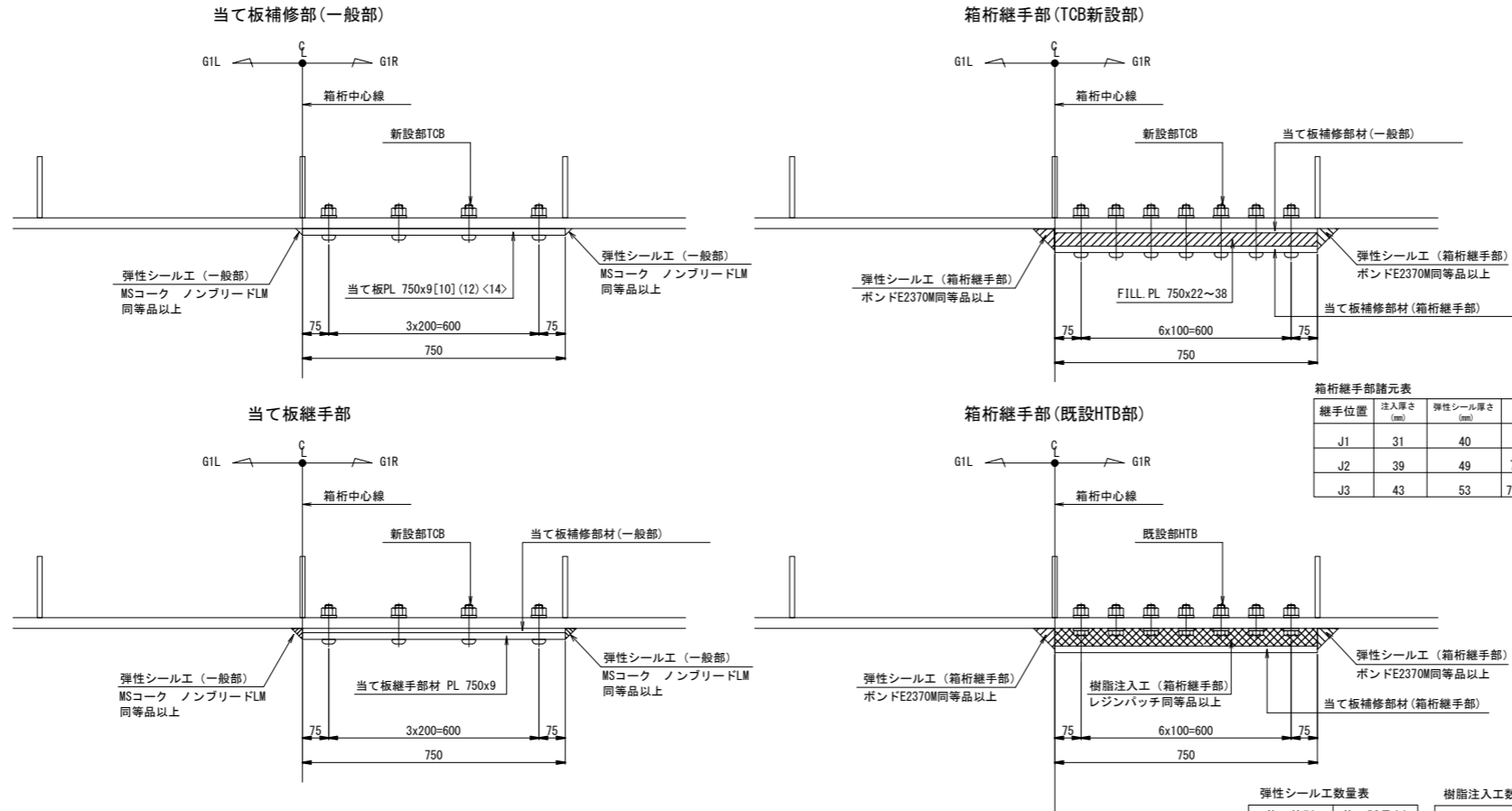


- 竣工図より部材寸法等を算出しているが、詳細な寸法は現地計測を行い決定すること。
- 高力ボルト孔はφ26.5mmとする。
- 当て板側面部において、弾性シーリング材（MSコーク ノンブリードLM同等品以上）を用いて止水対策を行うこと。
- 施工条件は起点側と終点側のCLより左右対称とする。

工事名	(総合評価) 新上里橋補修工事		
工事場所	京都市西京区大原野上里北ノ町他地内		
図面名	当て板補修図(その3)		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図示	図面番号	4 / 12
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

当て板補修図(その5)

断面図 S=1/10



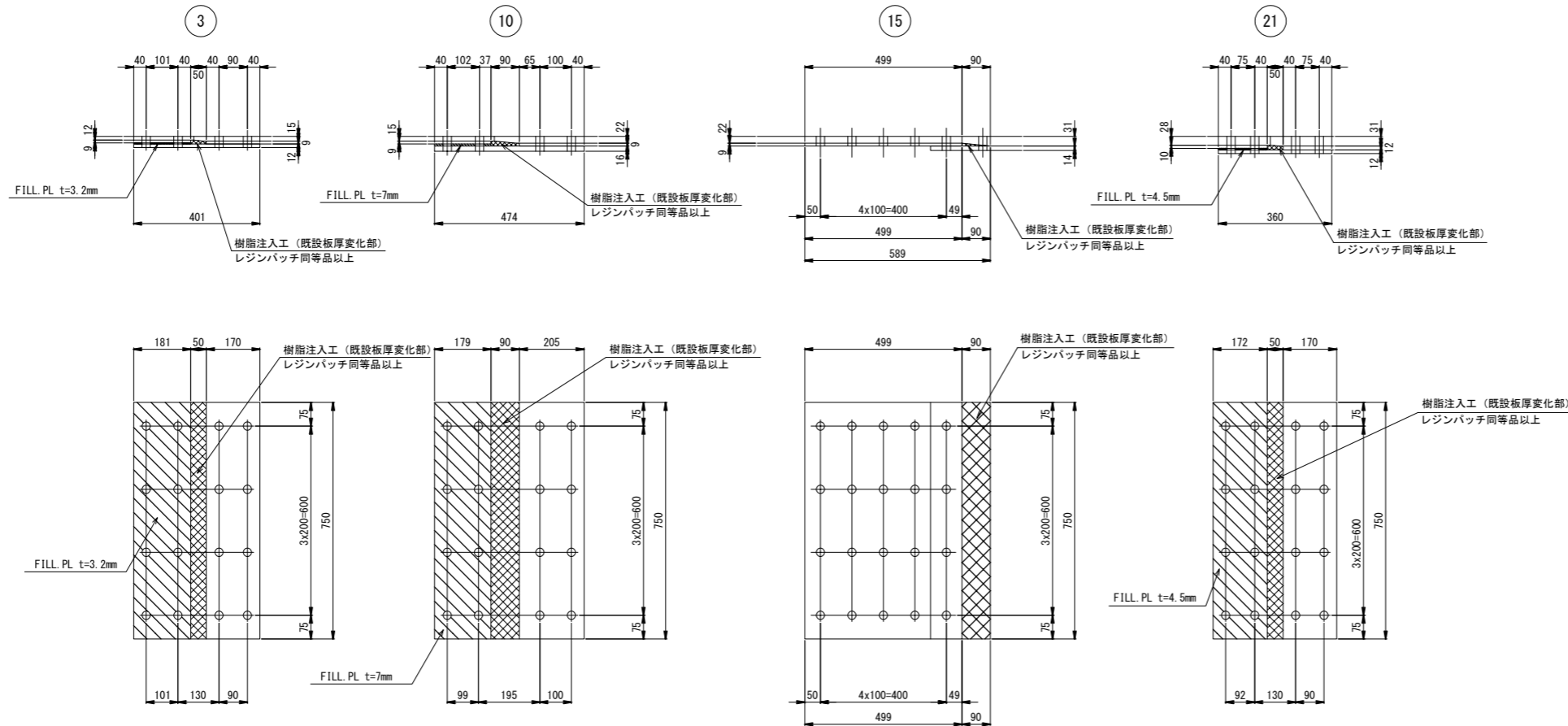
箱桁継手部諸元表

継手位置	注入深さ (mm)	弾性シール厚さ (mm)	既設高床板寸法 (mm)	既設ボルト本数
J1	31	40	750×460×9	42
J2	39	49	750×920×17	84
J3	43	53	750×1220×22	112

弾性シール工数量表		樹脂注入手数数量表	
施工箇所	施工延長 (m)	施工箇所	施工面積 (m ²)
一般部	100.8	J1~J3	5.1
箱桁継手部	17.2	③⑩⑮⑳ 合計	0.4

既設板厚変化部取付詳細図

S=1/10



- 注記
- 特記なき材質は全てSM490YAを示す。
 - 高力ボルト孔はφ26.5mmとする。

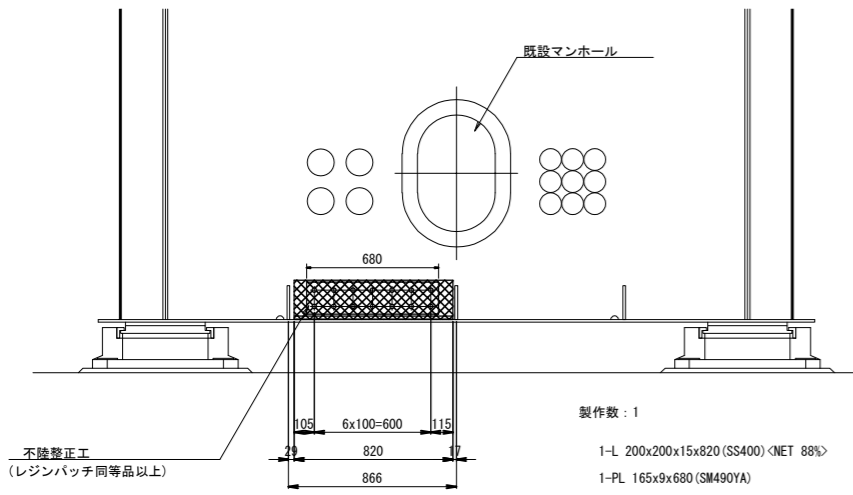
工事名	(総合評価) 新上里橋補修工事		
工事場所	京都市西京区大原野上里北ノ町地内		
図面名	当て板補修図(その5)		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図示	図面番号	6 / 12
京都市建設局土木管理部構りょう健全推進課			

当て板補修図(その6)

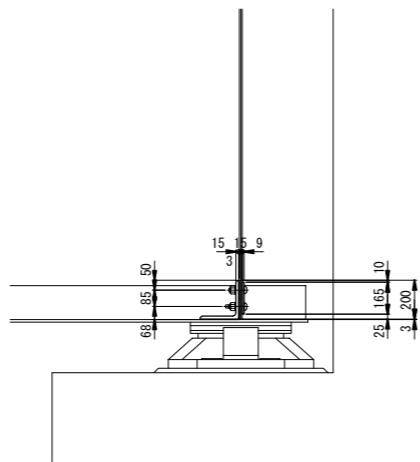
A2側端支点ダイヤフラム部

S=1/20

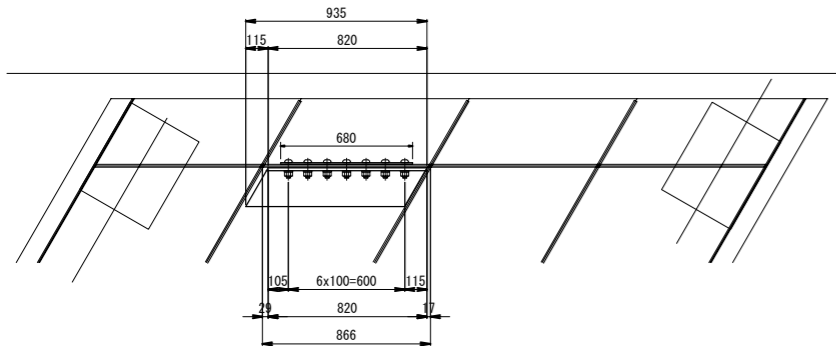
正面図



断面図



平面図

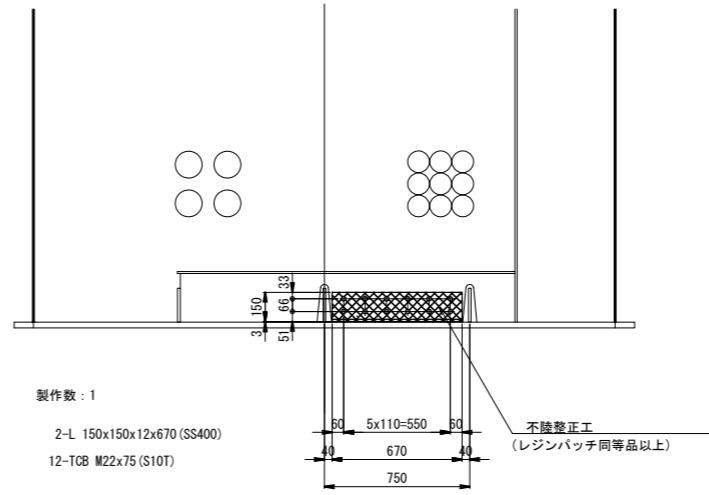


製作数: 1
 1-L 200x200x15x820 (SS400) <NET 88%>
 1-PL 165x9x680 (SM490YA)
 14-TCB M22x80 (S10T)

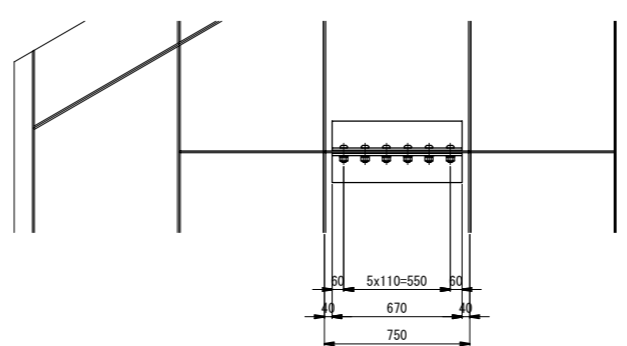
横リブ部

S=1/20

正面図



平面図

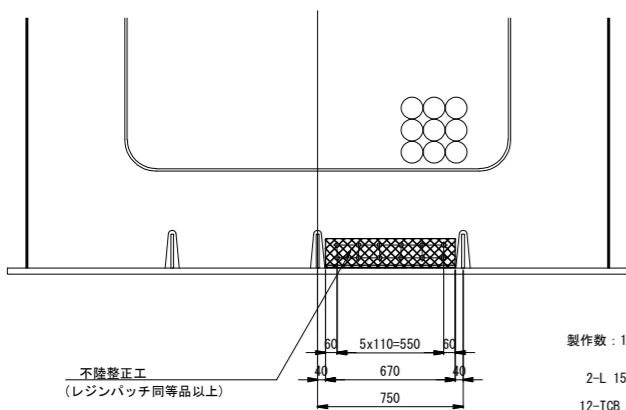


製作数: 1
 2-L 150x150x12x670 (SS400)
 12-TCB M22x75 (S10T)

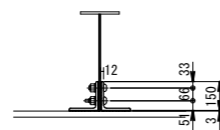
中間ダイヤフラム部

S=1/20

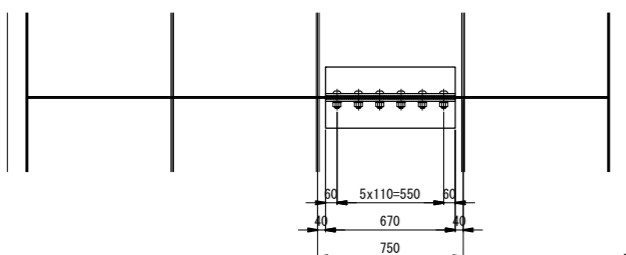
正面図



断面図
(横リブ部、中間ダイヤフラム部)



平面図



製作数: 1
 2-L 150x150x12x670 (SS400)
 12-TCB M22x75 (S10T)

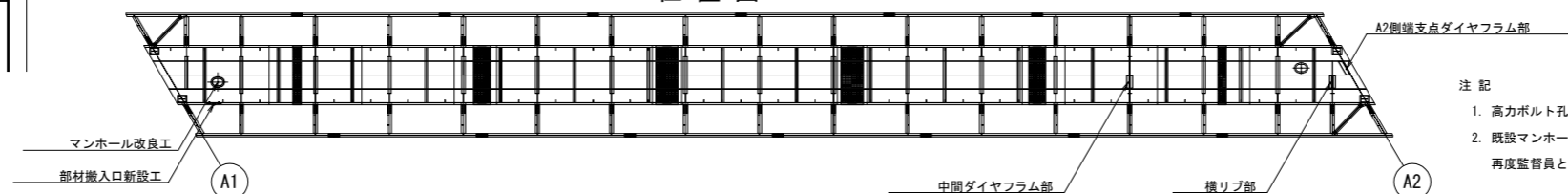
当て板補修工 集計表

内 訳	単位	数量	備 考	
鋼材	PL	kg	113	
		部材数	6	SM490YA, SM490YB
鋼材 (TCB)	M22x75	本	24	S10T
		M22x80	本	
芯出し調整工	2種ケレン相当	m2	0.4	
鋼桁孔明け工	φ26.5	箇所	38	

不陸整正工数量表

施工箇所	施工面積 (m2)
A2側端支点ダイヤフラム部 中間ダイヤフラム部、横リブ部	0.7

位置図 S=1/200



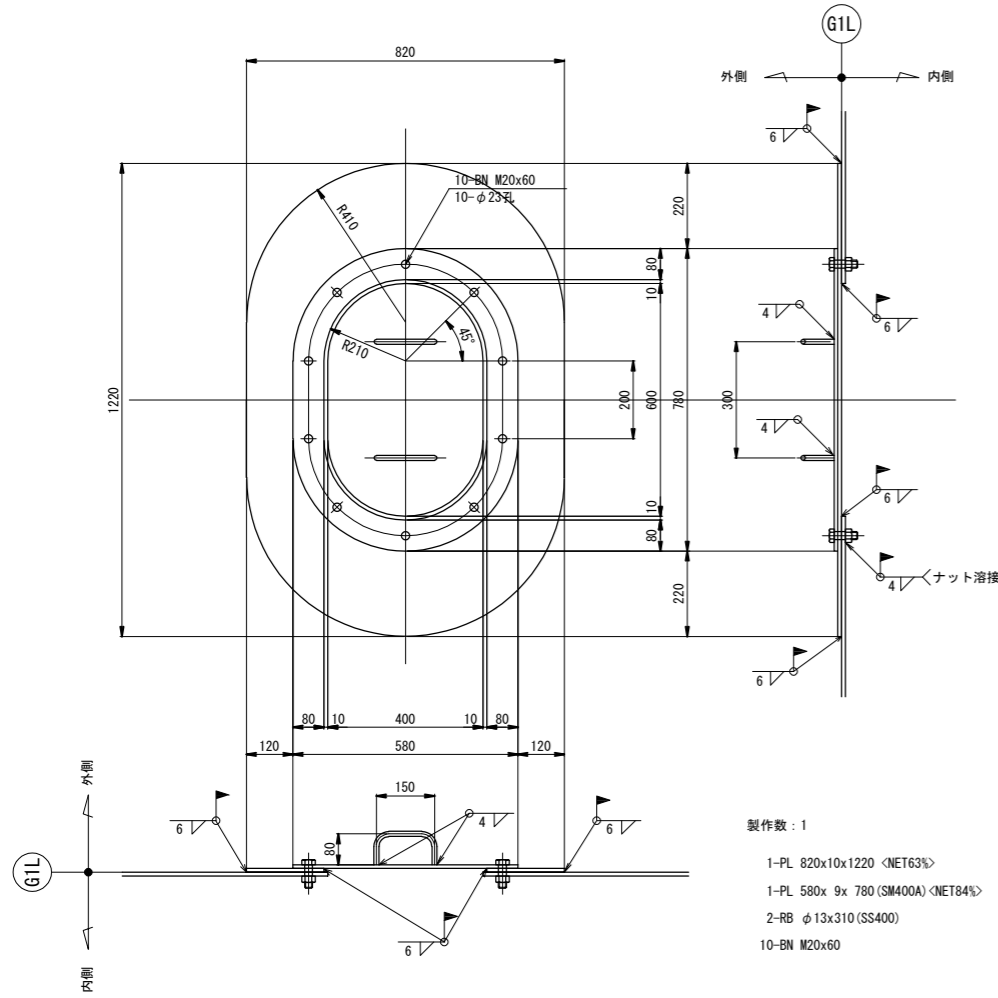
注 記

- 高力ボルト孔はφ26.5mmとする。
- 既設マンホール蓋及び螺番は再利用としたが再度監督員と協議を行い決定すること。

工事名	(総合評価) 新上里橋補修工事		
工事場所	京都市西京区大原野上里北ノ町他地内		
図面名	当て板補修図(その6)		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図示	図面番号	7 / 12
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

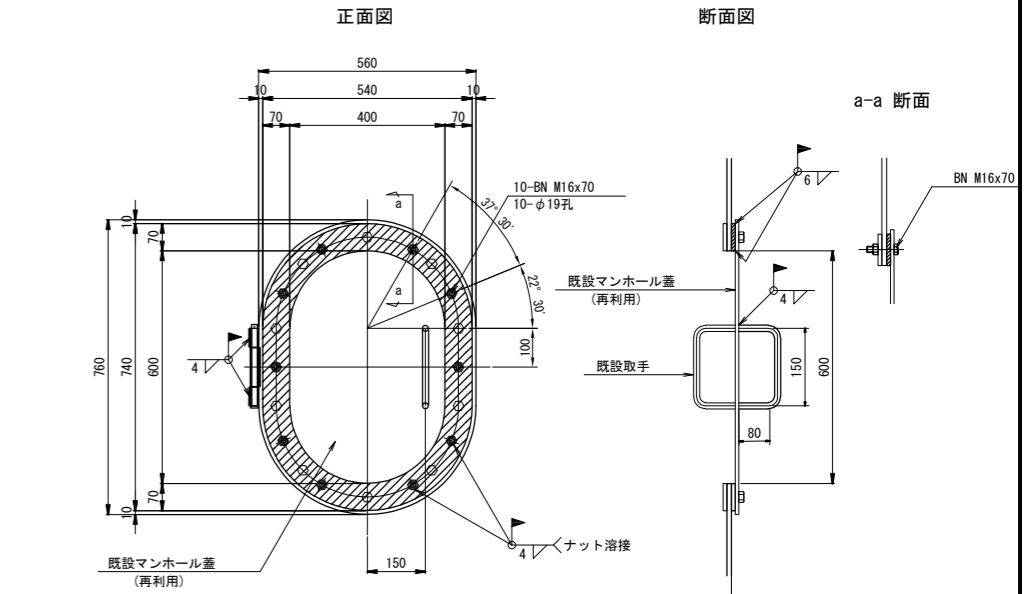
部材搬入口設置工、マンホール改良工図

部材搬入口詳細図 S=1/10



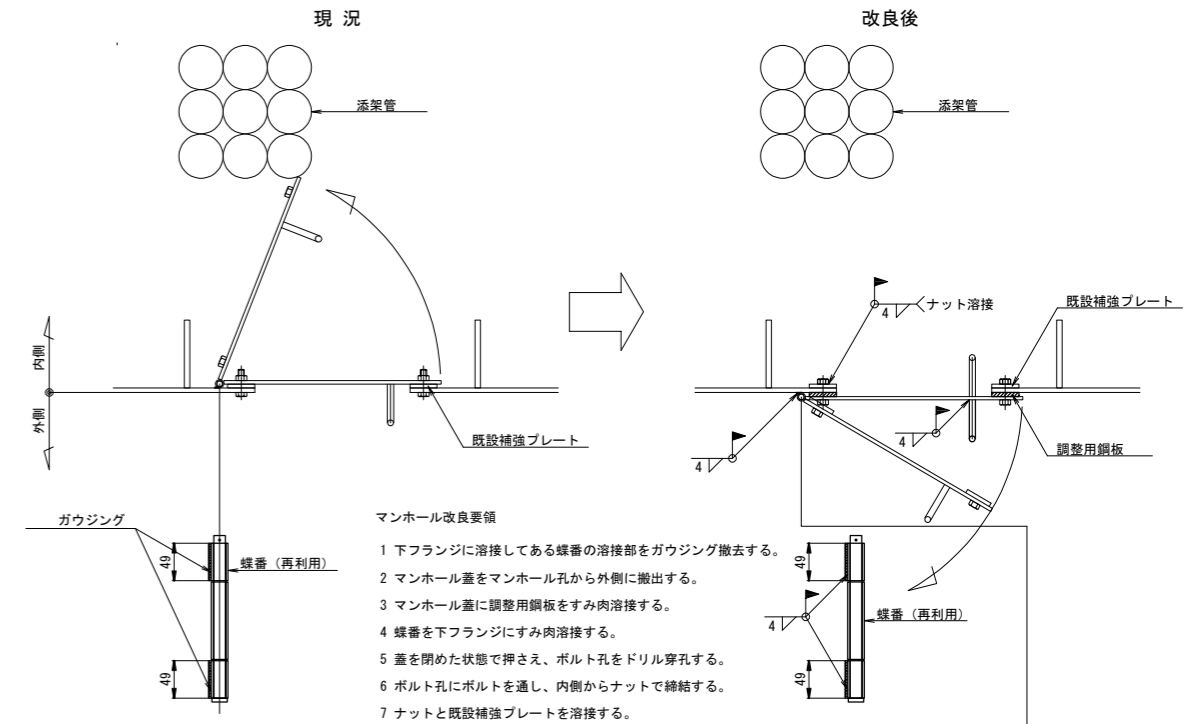
- 製作数：1
- 1-PL 820x10x1220 <NET63>
 - 1-PL 580x9x780 (SM400A) <NET84>
 - 2-RB φ13x310 (SS400)
 - 10-BN M20x60

A1側マンホール改良図 S=1/10



- 製作数：1
- 1-PL 540x10x740 (SM400A) <NET33>
 - 1-RB φ16x310 (SS400)
 - 10-BN M16x70

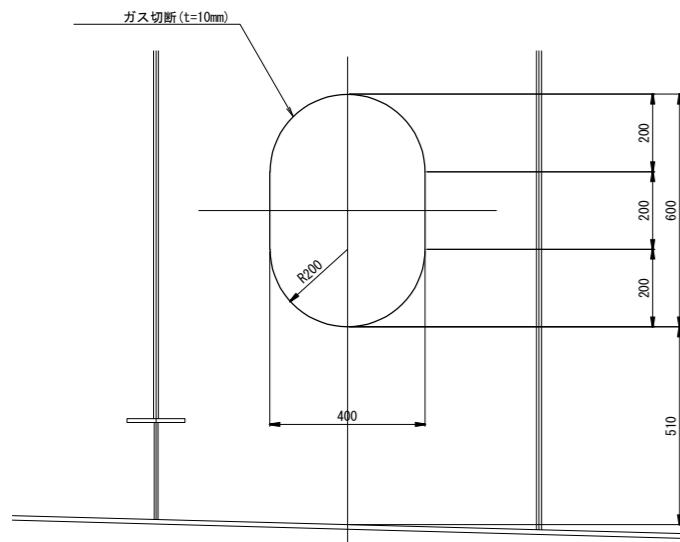
側面図 S=1/10



マンホール改良工数量表

工程・細別	規格・区分	単位	数量	備考
製作加工(製作費)	SM490YA 鋼板 t=10mm	kg	10	
	SS400 丸鋼 φ13mm	kg	1	
六角ボルト・ナット	M16x70mm	組	10	
ガウジング工	すみ肉溶接サイズ4mm 上向き	m	0.1	
鋼桁孔明工	SM490YA t=10mm 上向き	孔	10	
現場溶接工	下向き	m	4.2	ナット溶接、螺番溶接、調整用鋼板溶接、取っ手溶接

部材搬入口既設鋼板切断詳細図 S=1/10

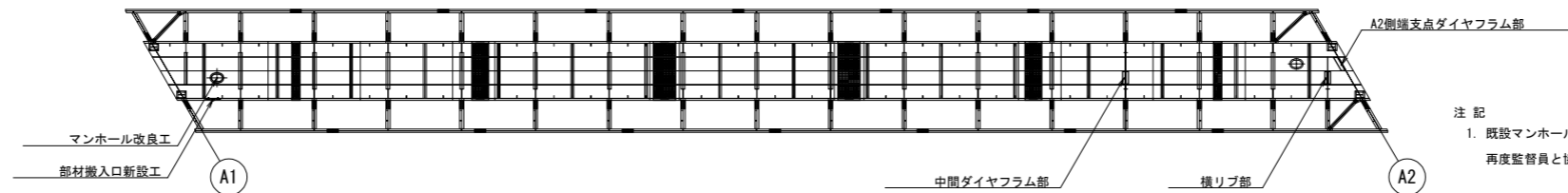


部材搬入口設置工数量表

工程・細別	規格・区分	単位	数量	備考
製作加工(製作費)	SM490YA 鋼板 t=10mm	kg	49	
	SM400A 鋼板 t=9mm	kg	27	
	SS400 丸鋼 φ13mm	kg	1	
六角ボルト・ナット	M20x60mm	組	10	
ガス切断	t=10mm 桁外面	m	1.7	
鋼桁孔明工	SM490YA t=10mm 水平	孔	10	
現場溶接		m	5.6	

- 注記
1. 既設材にできるだけひずみが生じないように、留意して施工すること。

位置図 S=1/200

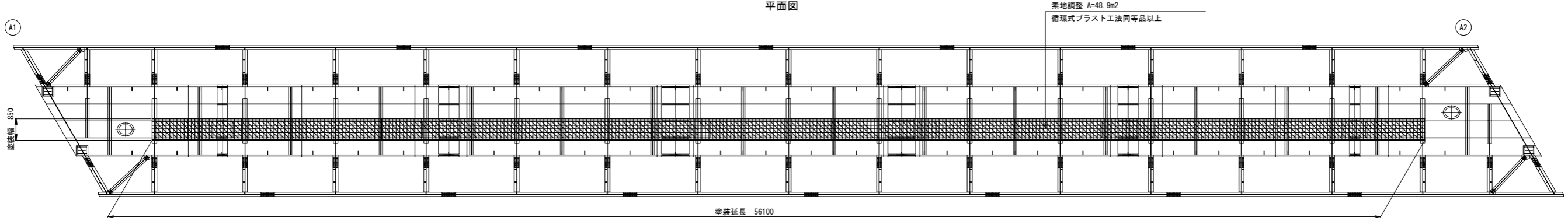


- 注記
1. 既設マンホール蓋及び螺番は再利用としたが、再度監督員と協議を行い決定すること。

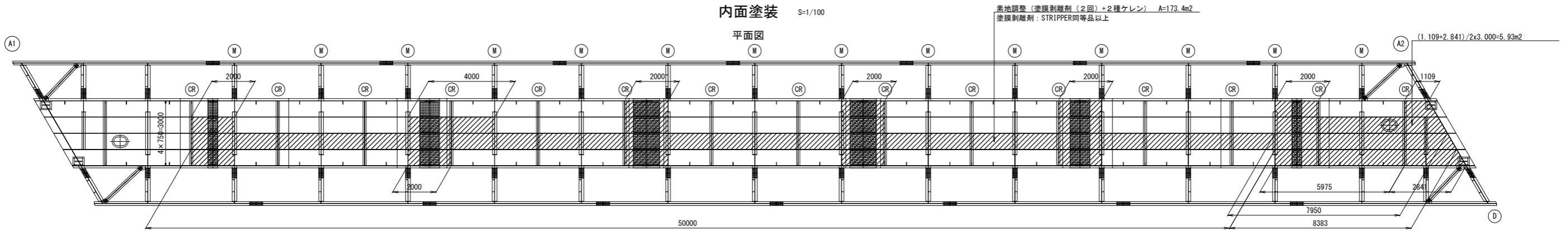
工事名	(総合評価) 新上里橋補修工事		
工事場所	京都市西京区大原野上里北ノ町地内		
図面名	部材搬入口設置、マンホール改良図		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図示	図番番号	8 / 12
京都市建設局土木管理部構りょう健全推進課			

橋梁塗装工図 (その1)

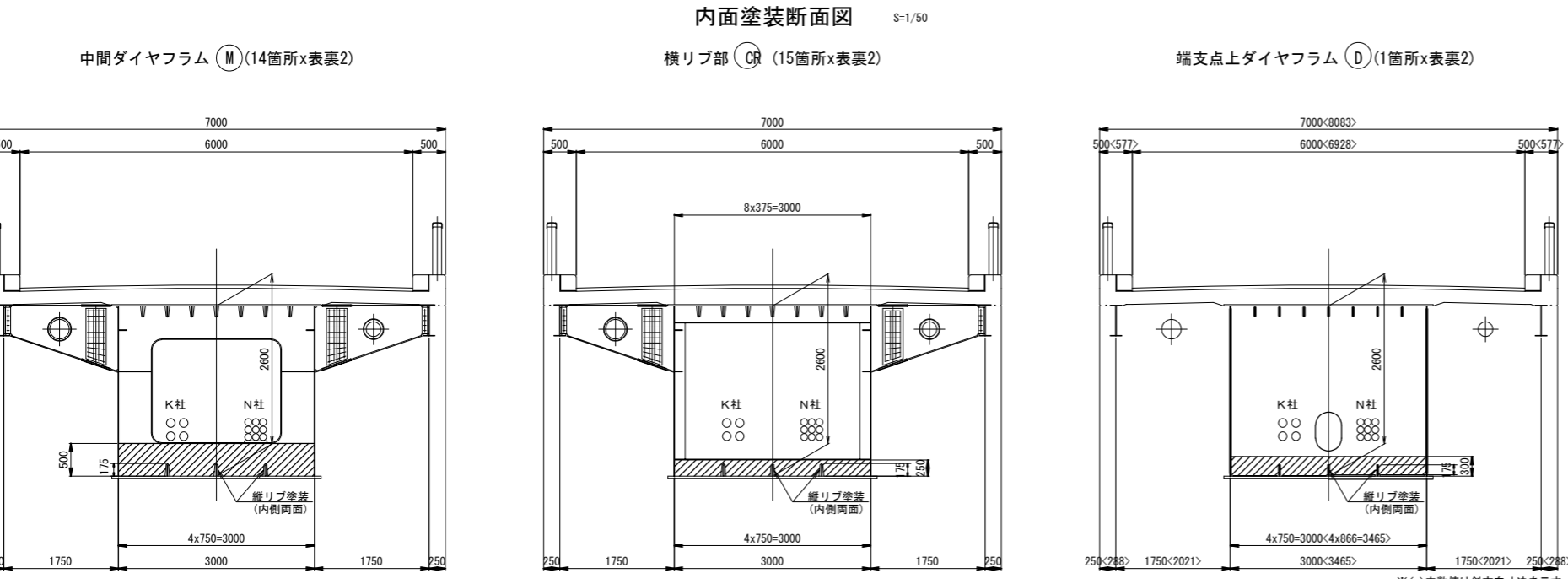
外面塗装 S=1/100
平面図



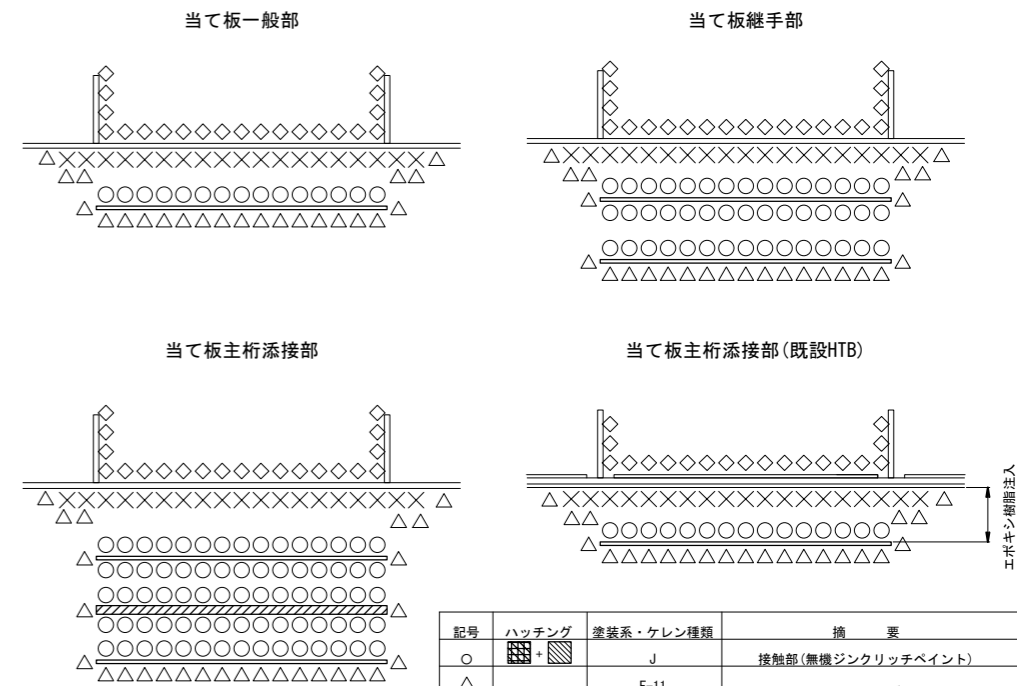
内面塗装 S=1/100
平面図



内面塗装断面図 S=1/50



塗装区分図



Rc-I 塗装系 (スプレー) 鋼道路橋防食便覧 P.11-118

塗装工程	仕様	使用量 (kg/m ²)	塗膜厚	塗装間隔
1	素地調整 塗膜剥離剤+2種ケレン			4時間以内
2	防食下地 有機ジンクリッチペイント	0.60kg/m ²	75μm	1日~10日
3	下塗 弱溶剤系変性エポキシ樹脂塗料	0.24kg/m ²	60μm	1日~10日
4	下塗 弱溶剤系変性エポキシ樹脂塗料	0.24kg/m ²	60μm	1日~10日
5	中塗 弱溶剤系ふっ素樹脂塗料	0.17kg/m ²	30μm	1日~10日
6	上塗 弱溶剤系ふっ素樹脂塗料	0.14kg/m ²	25μm	1日~10日

高力ボルト連結部: F-11塗装系 (スプレー) 鋼道路橋防食便覧 P.11-64

塗装工程	仕様	使用量 (kg/m ²)	塗膜厚	塗装間隔
1	素地調整 プラスト処理 ISO Sa 2 1/2			4時間以内
2	防食下地 無機ジンクリッチペイント	0.60kg/m ²	75μm	1年以内
1	素地調整 動力工具処理 ISO St 3			4時間以内
2	ミストコート 変性エポキシ樹脂塗料下塗	0.16kg/m ²		1日~10日
3	下塗り 超厚膜形エポキシ樹脂塗料	1.10kg/m ²	300μm	1日~10日
4	中塗り ふっ素樹脂塗料中塗	0.17kg/m ²	30μm	1日~10日
5	上塗り ふっ素樹脂塗料上塗	0.14kg/m ²	25μm	1日~10日

箱桁内面ケレン・塗装面積

ケレン種類・塗装系	数量 (m ²)						合計数量 (m ²)
	下フランジ	縦リブ	横リブ	中間ダイヤフラム	端支点上ダイヤフラム	既設高力ボルト頭側部	
1種ケレン (塗膜剥離剤 (2回)+2種ケレン)	79.4	20.4	22.5	42.0	1.8	7.3	173.4
F-11			2.3				2.3
Rc-I			171.1				171.1

箱桁外面ケレン・塗装面積

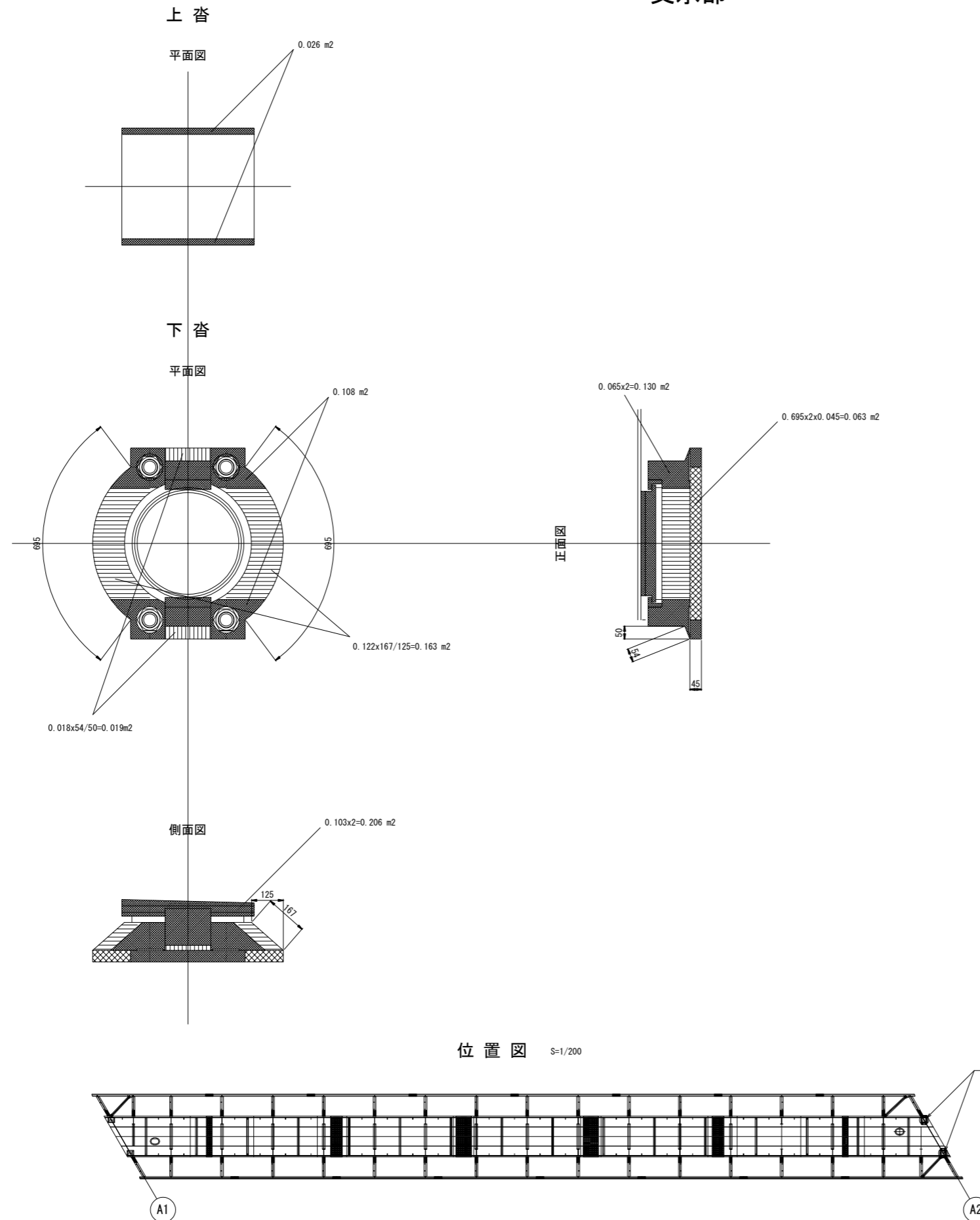
ケレン種類・塗装系	数量 (m ²)		合計数量 (m ²)
	下フランジ	既設高力ボルト頭側部	
1種ケレン (循環式プラスト)	47.7	1.2	48.9
F-11		50.7	50.7

注記
1 箱桁内部で素地調整や塗装を行うため、箱桁内の換気や火器の取り扱いについて十分に注意して施工すること。
2 箱桁外部の素地調整時の養生シートについて、強風によるめくり上りや出入口 (シートラップ箇所) の隙間などが生じないように留意して施工すること。

記号	ハッチング	塗装系・ケレン種類	備考
○	[ハッチング]	J	接触部 (無機ジンクリッチペイント)
△	[ハッチング]	F-11	ケレン種類: 循環式プラスト工法同等品以上
×	[ハッチング]	1種ケレン	
◇	[ハッチング]	Rc-I	ケレン種類: 塗膜剥離剤 (2回)+2種ケレン 塗膜剥離剤: STRIPPER同等品以上
	[ハッチング]	1種ケレン	

工事名	(総合評価) 新上里橋補修工事		
工事場所	京都市西京区大原野上里北ノ町他地内		
図面名	橋梁塗装工図 (その1)		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図示	図面番号	9 / 12
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

支承部



塗装仕様

Rc-I塗装系 (スプレー)

塗装工程	仕 様	使用量 (kg/m ²)	塗膜厚	塗装間隔
1	素地調整 1種ケレン (循環式プラスト工法同等品以上)			4時間以内
2	防食下地 有機ジンクリッチペイント	0.60kg/m ²	75μm	1日~10日
3	下塗 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	0.24kg/m ²	60μm	1日~10日
4	下塗 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	0.24kg/m ²	60μm	1日~10日
5	中塗 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	0.17kg/m ²	30μm	1日~10日
6	上塗 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	0.14kg/m ²	25μm	1日~10日

鋼道路橋防食便覧 P.111-118

数量表

種別	規 格	数 量 (m ²)	摘 要
素地調整	1種	0.7	
防食下地	有機ジンクリッチペイント	0.7	
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	0.7	
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	0.7	
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	0.7	
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	0.7	

(1基当り)

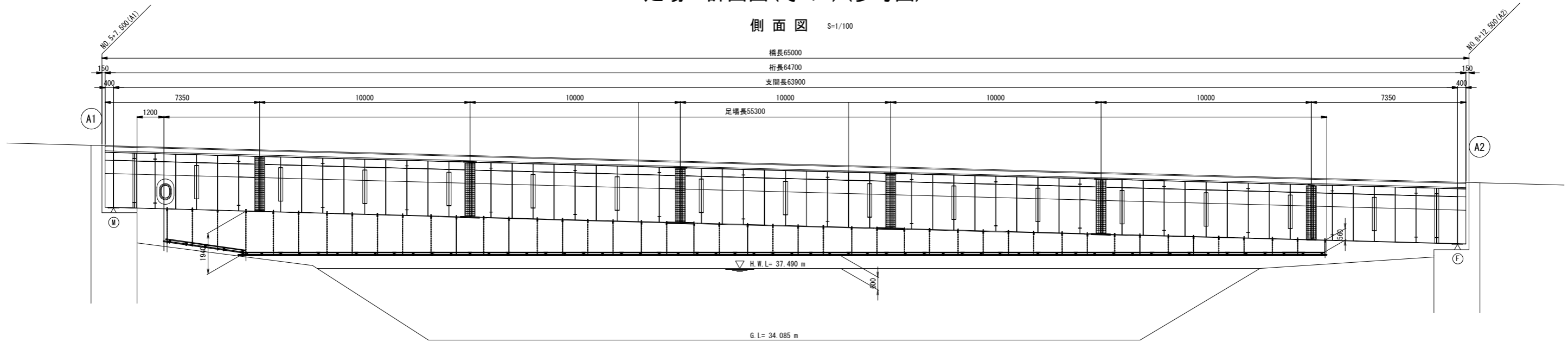
位置図 S=1:200

塗装塗替え工
(固定支承)

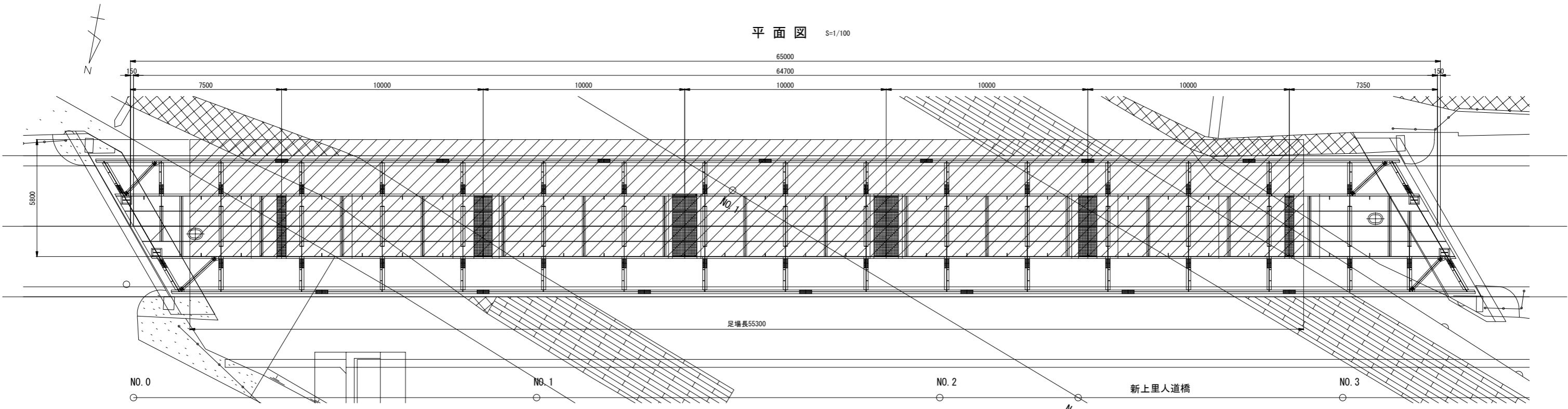
工事名	(総合評価)新上里橋補修工事		
工事場所	京都市西京区大原野上里北ノ町他地内		
図面名	橋梁塗装工図 (その2)		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図示	図面番号	10 / 12
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

足場工計画図(その1)(参考図)

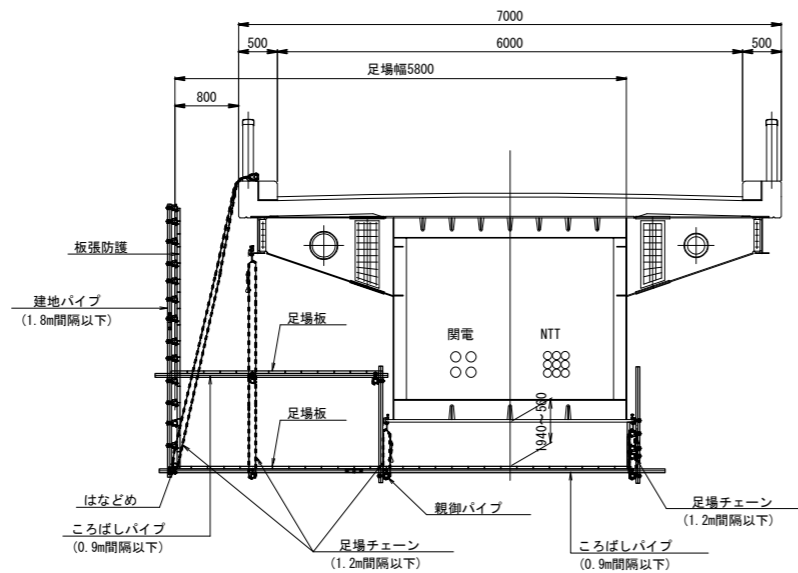
側面図 S=1/100



平面図 S=1/100



標準断面図 S=1/50



足場工数量

位置	足場幅(m)	足場長(m)	足場面積(m ²)	備考
左側	5.800	55.300	320.7	

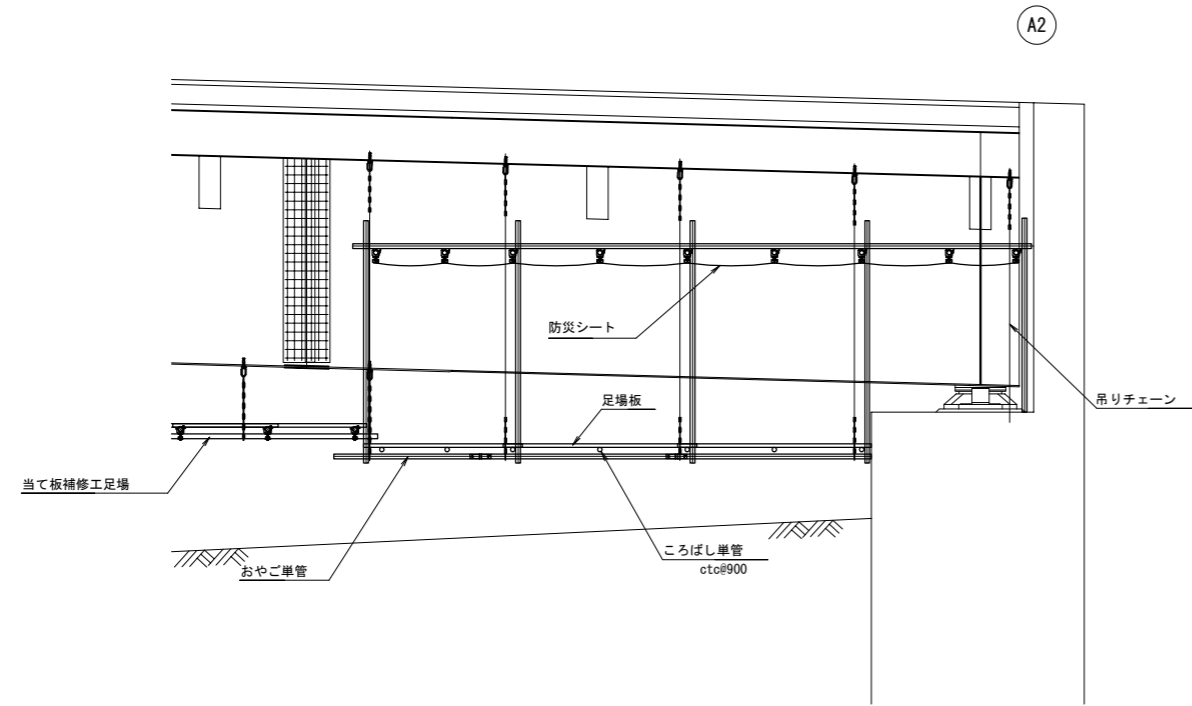
注記

1. 本図面は参考図であるため、施工業者と適切な足場計画を立案すること。
2. 吊り足場作業床高は、計画高水位+余裕高との取り合いより確定したが、再度、河川管理者と協議の上決定すること。
3. 補修工事は、非出水期施工とするが、異常水位発生時には対策工法を検討すること。
4. 吊足場には、シート張防護およびプラスト用養生シートを布設すること。

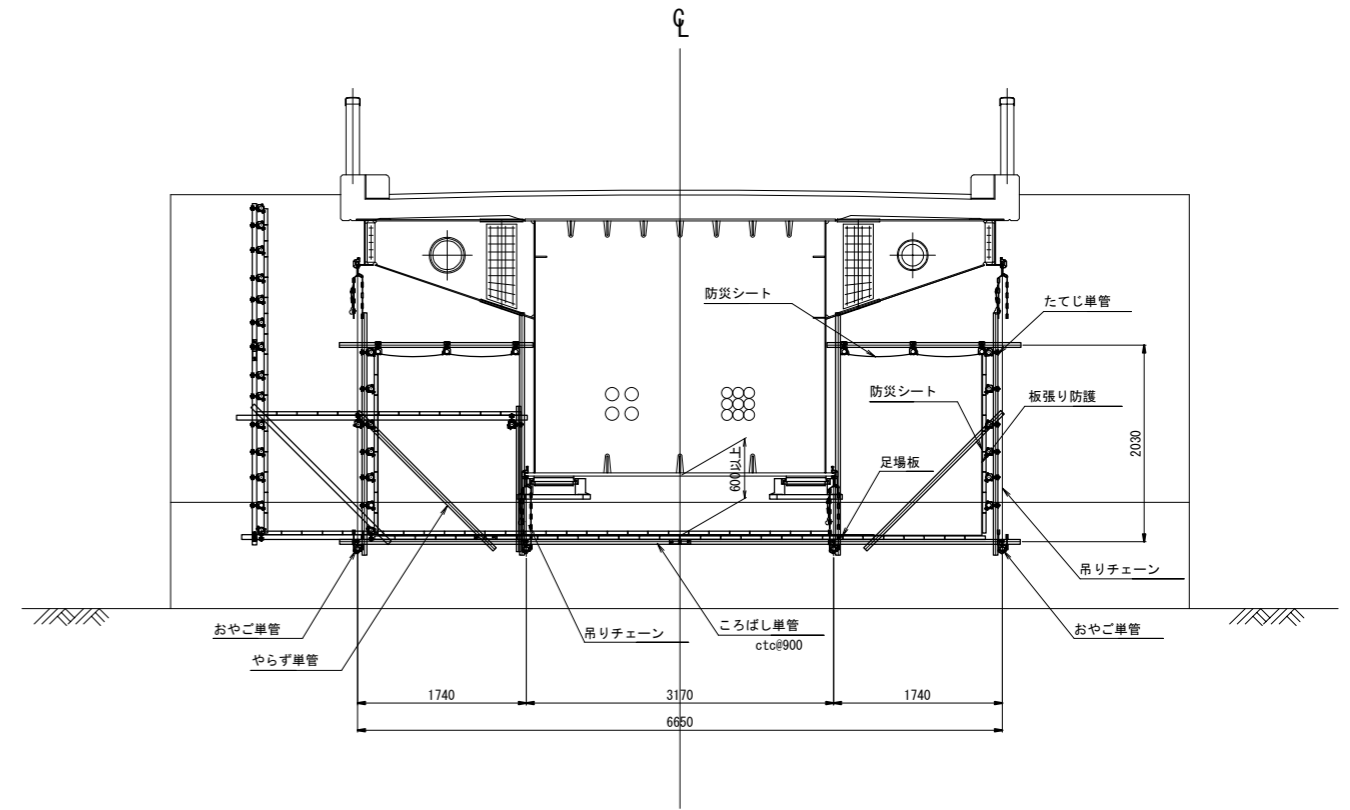
工事名	(総合評価) 新上里橋補修工事		
工事場所	京都市西京区大原野上里北ノ町他地内		
図面名	足場工計画図(その1)(参考図)		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図示	図面番号	11 / 12
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

足場工計画図(その2)(参考図)

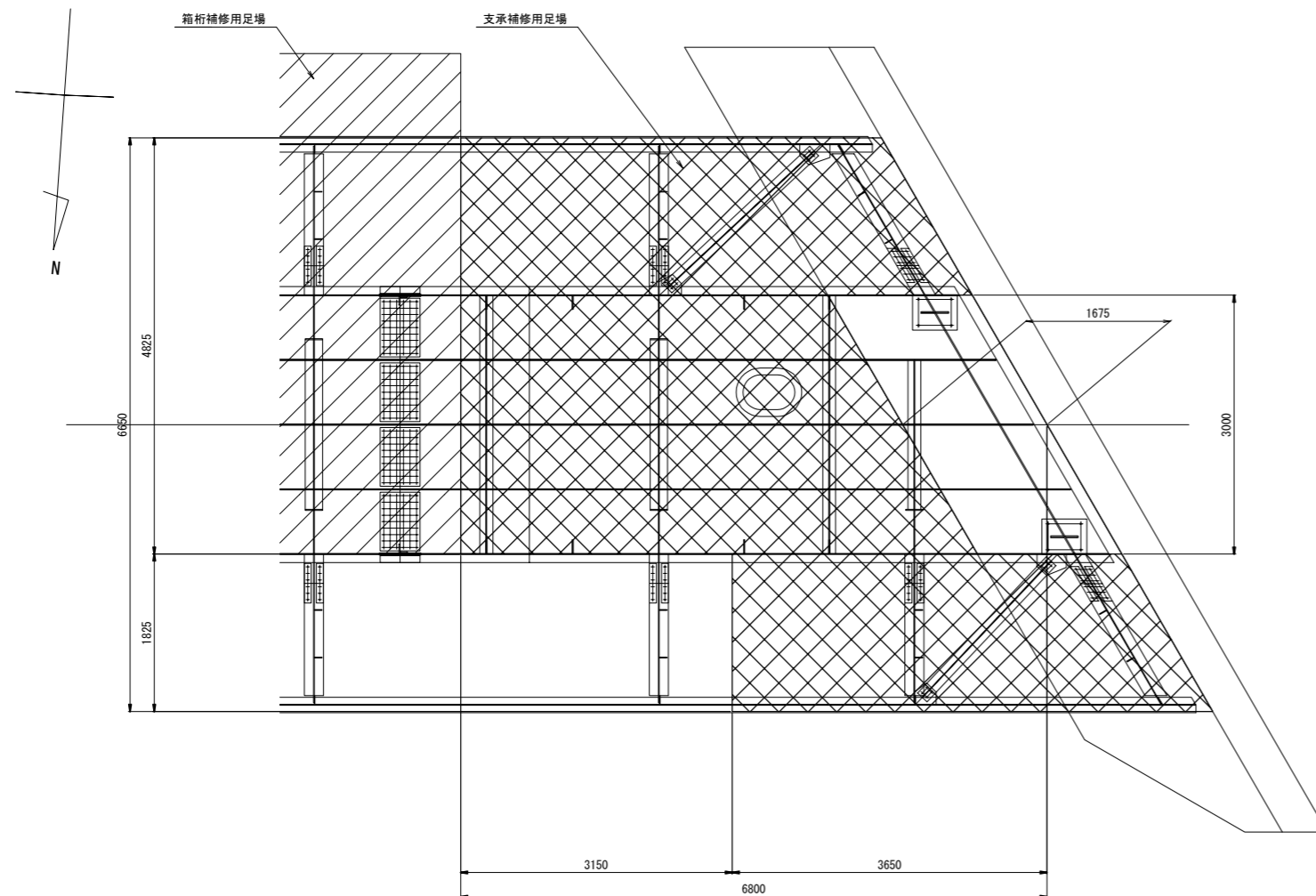
側面図



標準断面図



平面図



注記

1. 本図面は参考図であるため、施工業者と適切な足場計画を立案すること。
2. 吊り足場作業床高は、計画高水位+余裕高との取り合いより確定したが、再度、河川管理者と協議の上決定すること。
3. 補修工事は、非出水期施工とするが、異常水位発生時には対策工法を検討すること。
4. 吊足場には、シート張防護およびプラスト用養生シートを布設すること。

足場工数量

	足場幅(m)	足場長(m)	足場面積(m ²)	備考
吊足場	6.650	6.800	34.4	控除面積10.774m ²

工事名	(総合評価)新上里橋補修工事		
工事場所	京都市西京区大原野上里北ノ町他地内		
図面名	足場工計画図(その2)(参考図)		
事業年度	令和8年度		
縮尺	1:40	図面番号	12 / 12
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			